

磐梯山

○概況

火山活動は穏やかに経過しました。

山体北側火口壁の噴気の状態に大きな変化はみられませんでした。

地震活動の状況

火山性地震回数は、11 回（9 月 51 回）観測されました。9 月上旬にやや増加した地震回数は、9 月中旬以降減少し、10 月は穏やかに経過しました。

火山性微動は観測されませんでした。

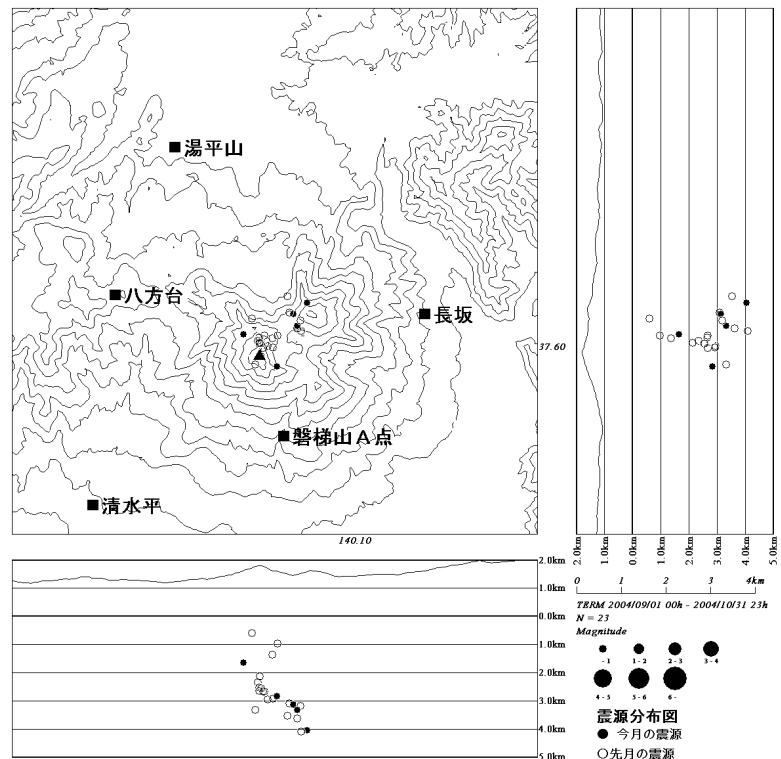
モホ面付近（深さ 30km 前後）が震源とみられる低周波地震は観測されませんでした（9 月なし）。

噴気活動の状況

遠望観測（監視カメラ）では、山体北側火口壁の噴気は 100m 以下で経過し、大きな変化はみられませんでした。

地殻変動の状況

GPS による観測では、火山活動によると考えられる変化はみられませんでした。

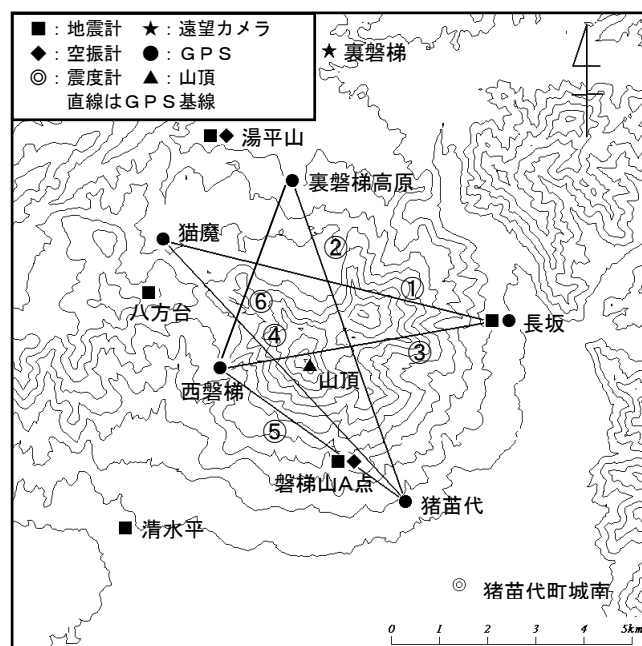


磐梯山震源分布図(2004. 9. 1～2004. 10. 31)

現地観測の状況

現地観測を 10 月 13 日から 15 日に実施し、赤外熱映像観測、噴気、地中温度観測を行いました。

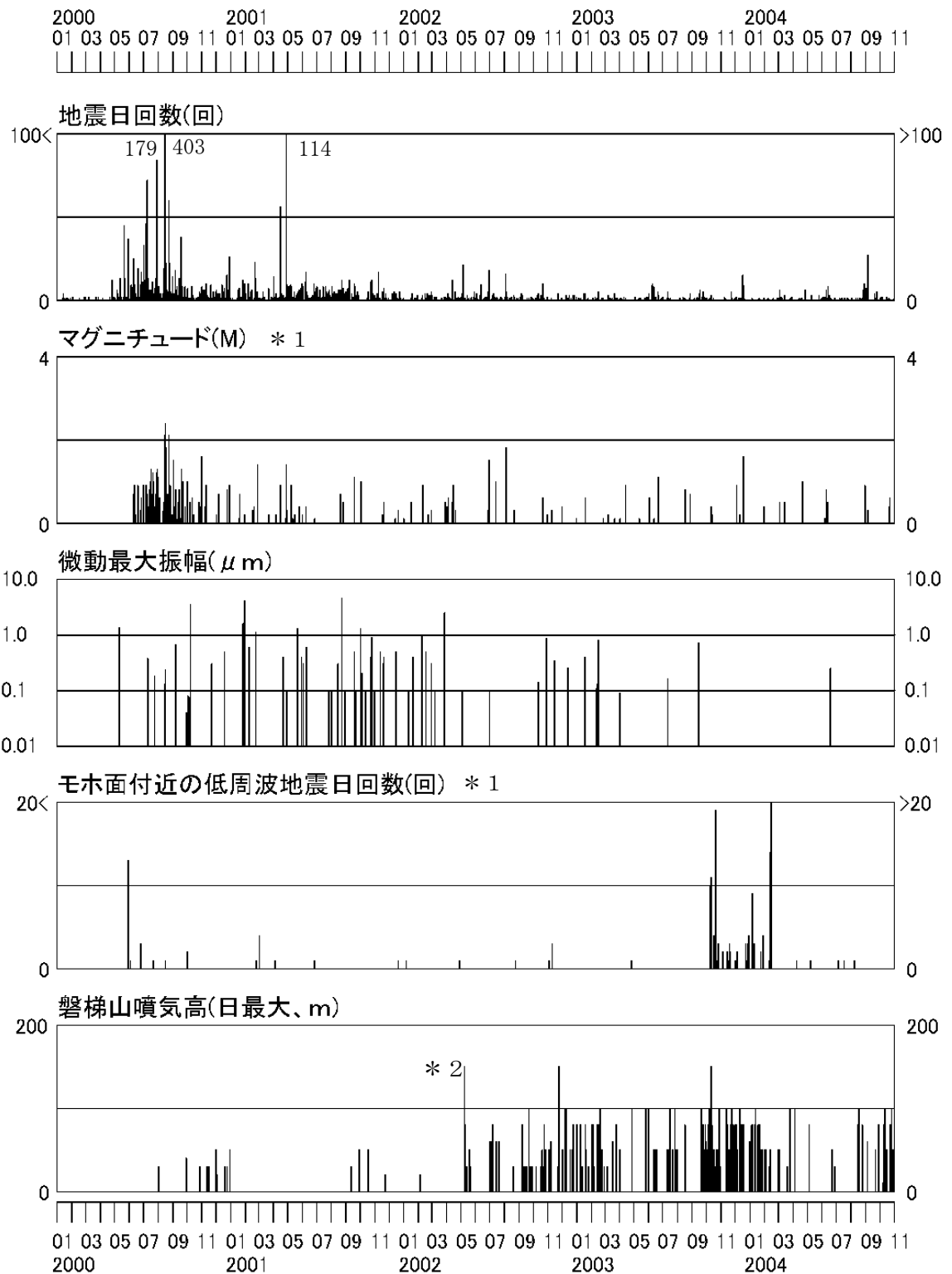
本年 6 月 2 日の観測結果と比較して、火口壁北側の噴気地熱地帯の状態に変化はなく、その他の異常もみられませんでした。



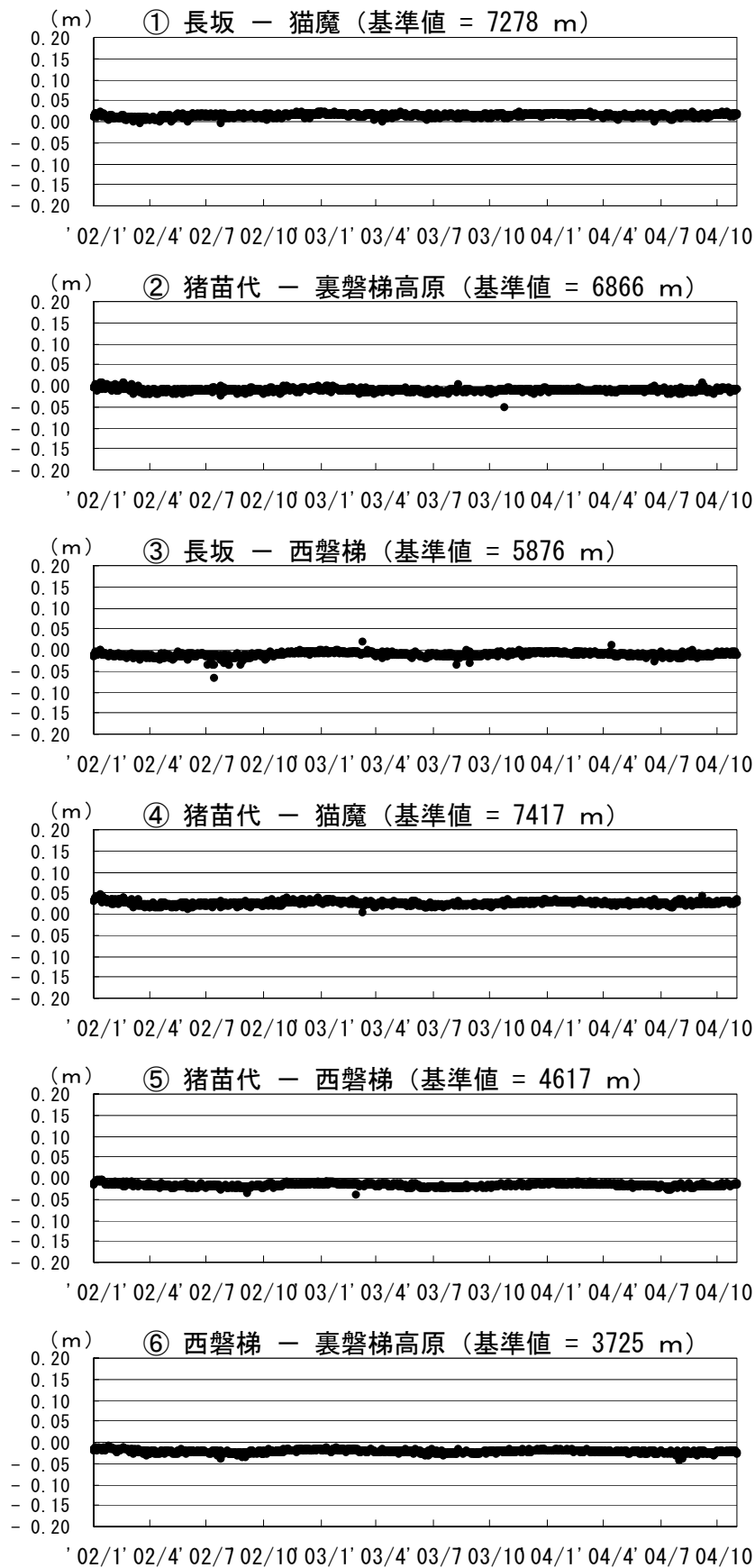
磐梯山火山観測点配置図

磐梯山 活動一覧

2000/01/01～2004/10/31



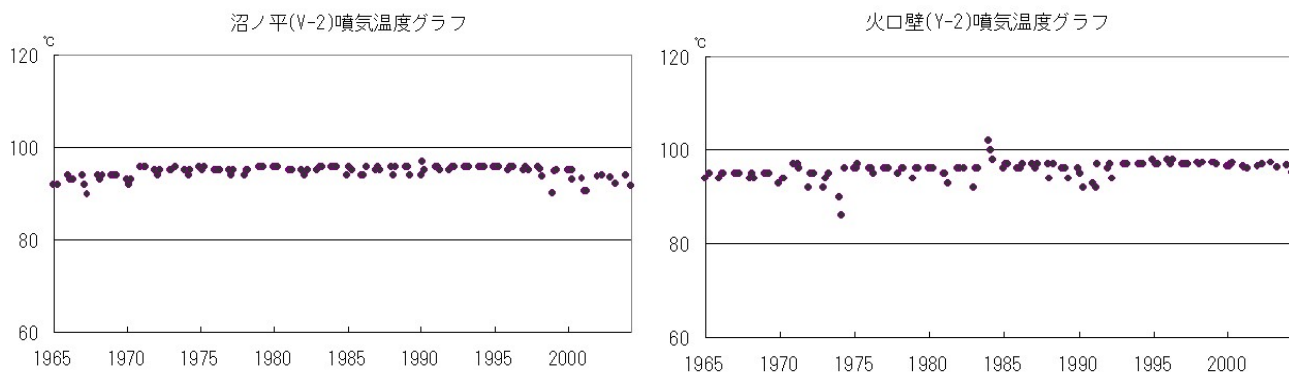
- * 1 東北大学、独立行政法人防災科学技術研究所、及び気象庁のデータを基に作成しています。
- * 2 2002 年 2 月以前は定時及び随時観測データ。
2002 年 3 月以後は収録データにより全時間を精査。



G P S 基線長変化図 (2002. 1~2004. 10)

現地観測の状況

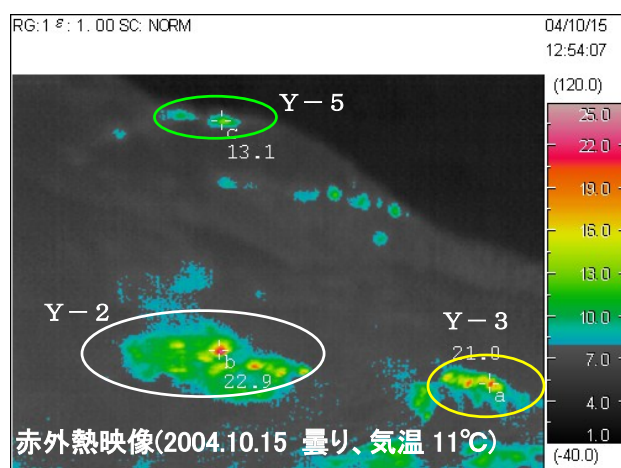
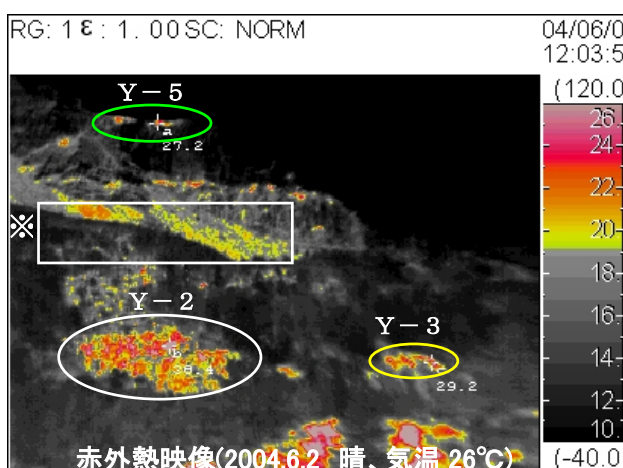
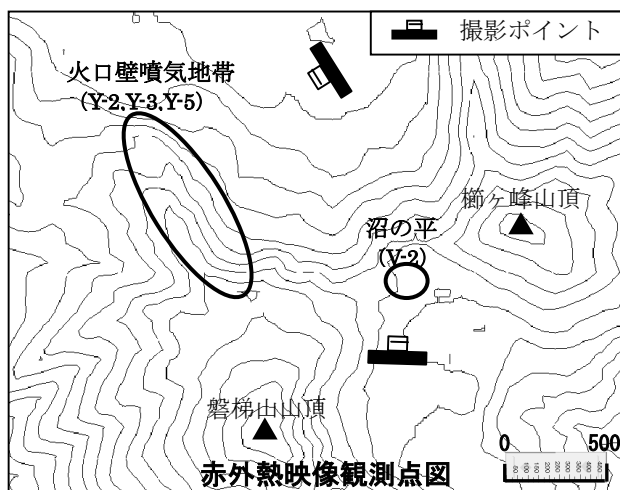
現地観測を 10 月 13 日から 15 日に実施し、赤外熱映像観測、噴気、地中温度観測を行いました。前回（6 月 2 日）の観測結果と比較して、火口壁北側の噴気地熱地帯の状態に変化はなく、その他の異常も見られませんでした。



沼ノ平 (V-2) と火口壁 (Y-2) の噴気温度変化

(データ期間：1965 年 7 月～2004 年 10 月)

※沼ノ平 (V-2) 及び火口壁 (Y-2) の噴気温度は、1965 年 7 月の観測開始以降、ほぼ一定しています。



火口壁噴気地帯 (Y-2, 3, 5) の可視画像と赤外熱映像解析図

(左下: 今年 6 月 2 日、右下: 今年 10 月 15 日)

※ 今年 6 月の赤外熱映像解析図に示された四角の部分は日射の影響によるものです。この部分を除くと、今回 (10 月 15 日) の解析結果と比較して地熱地帯の面積に変化はありません。